

山野井たかし後援会だより

No.55

後援会連絡所	〒323-0807 小山市城東3-14-5 0285-20-5000	発行責任者	渡辺 雅照
ホームページ	http://www.tvoyama.ne.jp/yamanoi.takashi/	編集者	山野井 孝
メールアドレス	yamanoi.takashi@tvoyama.ne.jp	発行日	2016年10月1日

日頃からの皆様のご支援に、心より感謝申し上げます。

市民が安心して暮らせる小山市をめざして、取り組んでまいりますので、変わらぬご支援をお願いいたします。

平成28年第3回小山市議会定例会が9月1日から28日の日程で開催されました。上程された議案は26件で、平成27年度小山市一般会計歳入歳出決算の認定についてを除く25議案が、原案通り可決又は認定されました。

なお、同決算については10月に別途委員会を開催し、審査した上で、12月議会での採決となります。



【主な議案】

＜平成28年度小山市一般会計補正予算（第1号）＞

歳入としては、国・県の負担金・補助金の増額、前年度繰越金の確定、市債の増額が主なものであり、約6億4千万円を増額するものです。

債務負担行為補正としては、『小中学校外国語指導助手（ALT）派遣業務事業』平成28年度～平成29年度：1,872万円、『絹義務教育学校スクールバス運行业務委託』平成28年度～平成33年度：1億4,000万円の2件となっています。

歳出は、関東・東北豪雨災害による住宅復旧支援事業費：3億5,230万円、障がい児通所支援費：1億600万円、交通バリアフリー化推進事業費（市道2327号線・富士通正門前）1,600万円、栗宮・緑の健康づくりの森周辺地区都市再生整備事業費：6,470万円、小山運動公園本球場ナイター照明整備事業費：1,800万円等となっています。

＜小山市被災者住宅復旧支援条例の制定について＞

自然災害により住宅に被害を受けた市民のうち国等の生活再建支援制度の対象とならない方に小山市被災者住宅復旧支援金を支給し、被災者の生活再建を支援するものです。

これは、昨年9月の関東・東北豪雨による大雨で多くの住宅が被災しましたが、多くの住宅において、罹災の程度が『半壊』『半壊に至らない』と判定を受けた方がほとんどであったことなどから、今回の条例による支援を行うことにしたもので、『半壊』の住宅に対象経費に相当する額として50万円を限度、『半壊に至らない』住宅には対象経費に1/2を乗じた額とし、10万円を限度とするものです。

もちろん、これによって全ての住宅の復旧ができるとは思いませんが、復旧に向けた支援として被災者の支援に繋がればと考えています。

＜小山市教育長の任命について＞

教育委員会教育長の酒井一行氏が任期満了となるため同氏を再任することについて、議会の同意を求めるものです。

酒井教育長は、平成23年4月から教育長を務めており、来年4月開校となる『小山市立絹義務教育学校』の合意に向けて、ご尽力をいただきました。今後も、小山市の子供たちのための教育の充実に向けて教育委員会の先頭に立ってがんばっていただきたいと思います。



<平成27年度各特別会計、公営企業会計の決算の認定>

特別会計10事業および企業会計1事業の決算が認定されました。

特別会計・企業会計		歳入	歳出
小山市国民健康保険特別会計（事業勘定）		197億8,547万円	191億1,657万円
小山市介護保険特別会計		101億3,374万円	96億8,943万円
小山市後期高齢者医療特別会計		13億8,507万円	13億7,878万円
小山市病院事業債管理事業特別会計		36億8,104万円	36億8,104万円
小山市墓園やすらぎの森事業特別会計		1億8,145万円	9,460万円
小山市与良川水系湛水防除事業特別会計		5,034万円	4,462万円
小山市農業集落排水処理事業特別会計		6億0,675万円	6億0,170万円
小山市第四工業団地造成事業特別会計		1億5,114万円	1億1,943万円
小山市公共用地先行取得事業特別会計		1,902万円	1,902万円
小山市公共下水道事業特別会計		49億8,818万円	48億4,887万円
小山市水道事業	収益的収入支出	30億9,692万円	27億3,948万円
	資本的収入支出	5,883万円	10億0,180万円

【地域活動】

<小山地区南北子ども会リーダー研修会>

毎年、夏休み中に実施している『リーダー研修会』を9月10日（土）・11日（日）に実施しました。各子ども会の次期リーダーとなる小学校5年生を対象に実施しているもので、今年は26名の子どもたちが参加してくれました。

那須高原の自然の中で集団生活や自然体験学習を通して、リーダーシップを発揮できる基礎を学んでもらうもので、『平成の森』での自然体験学習、『なす高原自然の家』での規律正しい生活や、キャンプファイヤーという楽しい中でのリーダーのあり方などを学んでもらいました。

今年の研修会では4名の育成者とシニアリーダー1名のご協力をいただき、無事に終了することができました。



<栃木県障がい者スポーツ大会ボランティア>

9月25日（日）栃木県総合運動公園を会場に行われた『栃木県障がい者スポーツ大会』に、電機連合栃木地協福祉対策部の皆さんと一っしょにボランティアに参加しました。

実施したのは『綿あめ』富士通、『水ヨーヨー』東芝那須・東芝ライテック、『金魚すくい』日本信号、『ポップコーン』シャープ・富士電機、『ガス風船』東光高岳・第一電子、『バルーンアート』PA宇都宮・日立AP・MEMC・富士通化成・テクノデバイス・パナエコであり、その他には『着ぐるみ』、『マジックショー』で会場を盛り上げました。

私は富士通労組として設営した『綿あめ』に参加して、選手や家族、施設関係者の皆さんに、綿あめをプレゼントし、とても喜んでいただきました。

また、来年も参加したいと思います。



【市政相談】

犬塚地内（昭和電工周辺）において、平地林の枝及び下草が道路にまではみ出し、車両及び自転車通学の自転車が衝突しそうな状態になっているとの相談を受け、対応していただきました。

